

議 事 録

件 名	令和８年度第１回大網白里市環境審議会
日 時	令和８年７月２７日（月） １４：００～１５：３０
場 所	大網白里市中央公民館 １階 講義室
出席委員	【委員】岩崎寛会長、内山佐智子、上田弘子、内山秀星、島津諭、木田進、 恵藤幸久、川野剛史（以下：委）
欠席委員	久我一雄、小栗山喜一郎
事 務 局	地域づくり課 古内課長、内山班長、宮本副主査（以下：事）
配付資料	別添のとおり
内 容	【１開会】 進行：事務局 【２会長挨拶】 岩崎会長より挨拶 【３議題】 （１）次期環境基本計画策定に伴うスケジュールについて 事務局から、次期環境基本計画の策定工程の変更について資料１に基づき説明。 （事）本年１２月の市長選挙執行に伴い、行政手続きの連続性を確保するため工程を前倒しする。１１月の議会報告、令和９年１月のパブリックコメント実施を経て、３月の計画策定完了を目指す。本日は早期に集約を図るため、具体的な条文案を含む「作成段階の素案」を提示した旨を説明。 審議経過 委員からは、修正スケジュール案および進め方について承認された。 （２）市民アンケートの結果について 事務局から、資料２に基づき説明。 概要：資料２に基づき、令和８年４月に実施した調査結果を報告。（大人の調査結果は青のグラフ、子供の結果はオレンジのグラフ） １０年前の調査と同一形式を採用し、経年変化を比較可能とした。 主要項目は素案第２章へ反映済み。 質疑応答： （委）空き地の雑草放置が目立つが、条例に基づく指導の運用実態は。 （事）所有者へ適正管理の文書発送を行っているが、完全な解決には至っていない実情もある。 （委）大人も子どもも「川や排水路」の評価が低い。アンケート結果で示された課題に対して、計画に対策を盛り込まなければ、アンケートの意味が薄れてしまう。市としての原因把握は。

- (事) 市民要望の多くは道路・排水路関連であり、対策はしているが追いついていないことが表れている。これらを具体的に計画の対策として反映できるか、関係課に改めて照会する必要がある。
- (委) 今後 10 年の計画を策定するうえで、過去 10 年の変化を把握することは不可欠であるとする。比較できるよう可能な範囲で前回の結果もアンケートに掲載してもらいたい。
- (事) 検討する。

(3) 次期環境基本計画の素案（作成段階）について

事務局から、資料 3に基づき全 5 章の構成を説明。

- (事) 最上位計画である第 6 次総合計画を環境の側面から牽引するマスタープランとして位置付け、中間見直しを含む 10 年間の計画期間を設定。第 4 章の具体的取組は事前に庁内各課照会済み。
なお、数値データは暫定的な個所もあるため、今後、随時更新していくと補足。

質疑応答：

- (委) **p.16** のごみ排出量グラフについて、平成 27 年度比で「10%減少」と表現するのは直近の横ばいの実態からして無理がある。「排出量」と「処理量」の用語も統一した方が良い。
- (事) 10 年間の比較を意図したものである。また令和 2 年度を比較対象としなかったのは、新型コロナウイルス等の特別な事情を除外するためである。用語の統一とともに、実態に合わせた表現を精査する。
- (委) **p.18** のガス供給について、戸数が増えているのに使用量が減少しているのは良いが、収入減に伴う値上げをしており矛盾しないか。
- (事) ガス使用量の減少はオール電化や人口減少の影響も考えられる。インフラ維持の必要性から市は料金改定を行い市民に協力を求めている状況である。
- (委) **p.25** の家庭ごみ指標（774g）に「可燃・不燃両方を含む」等の注釈を入れ、単位も「/人・日」と明記した方が良い。「資源化率」の指標導入や民間（スーパー等）の回収実績も補足できないか。
また、現状値の排出量の根拠が不明なため、環境クリーンセンター等、出典元を明記してもらいたい。
- (事) いただいた意見を精査する。資源化率の指標化を前向きに検討し、文言で民間回収の取組みについても触れる。
- (委) 同ページで生ごみ堆肥化装置（コンポスト等）の補助金交付件数を新たな指標として追加してはどうか。
- (事) 補助金制度は好評で、補正予算で増額した実績もある。指標として追加することを検討する。
- (委) **p.26** の浄化槽「転換」の意味が、馴染みがない用語なので、注釈等で分かりやすくしてもらいたい。
また、件数単位（年間か累計か）の明確化を求める。

- (事) 用語定義の注釈追加を行い、指標の単位についても整理する。
- (委) **p.29** (目標 5) の指標が清掃活動に偏っている。温暖化対策への貢献や「関係人口」の参加など、新たな指標の追加を検討してもらいたい。
- (事) 今後は、市が開催するイベント等で、本市に愛着のある市外住民が参加できるよう検討していきたい。
- (委) **p.38** の小中池公園、歩道整備の具体的な内容は。
- (事) 公園・歩道整備については各課に照会済みの内容であり、より具体的な記述ができるか改めて照会する。
- (委) **p.42** の環境家計簿について、紙ではなくスマホアプリやポイント制度など、D Xを活用し若年層が関心を持てる仕組みを 10 年スパンで検討してもらいたい。
- (事) 検討する。
- (委) **p.43** 環境学習の中で、地球温暖化対策として市がアクションを起こしてもらいたい(例: 出前講座等で地球温暖化をテーマとして取り入れる)
- (事) 検討する。

【4 閉会】 事務局より、今回の意見を精査し、反映させた確定素案を 10 月の次回審議会で報告する予定である旨を伝え、閉会。